

ちゅうごく街道交流会議(2010/5/27)

中国地方における日本風景街道及び夢街道ルネサンスという2つの取り組みをさらに発展させるため、「ちゅうごく街道交流会議」を開催しました。会議では、平成21年度新規夢街道ルネサンスに認定された4地区の認定証授与式と、認定地区の活動報告、さらには、「風景街道・夢街道の更なる向上を目指して」と題したパネラー7名によるパネルディスカッションを行いました。

プログラム

□開会

□主催者挨拶

□認定授与式

夢街道ルネサンス新規認定地区

- ・山陽道矢掛宿(岡山県矢掛町)
- ・吉備野みちくさ小道(岡山県総社市)
- ・街道 東城路(広島県庄原市)
- ・城下町長府夢街道(山口県下関市)

□活動報告

- ・山陽道矢掛宿 藤原令三氏
- ・吉備野みちくさ小道 加藤せい子氏
- ・街道 東城路 木村幸子氏
- ・城下町長府夢街道 上野健一郎氏

□パネルディスカッション

「風景街道・夢街道の更なる向上を目指して」

コーディネーター:小島光治氏

パネラー:福田督氏(中国経済連合会会長)
畑矢健治氏(中国新聞社総合編集本部長)
三村忠行氏(元JTB企画中国四国代表取締役社長)
三代隆司氏(人間文化の原風景)
大迫芳彦氏(本州最西端の道「風波のクロスロード」)
佐々木千代子氏(鹿野往来)
福田功氏(中国地方整備局長)



認定証授与式



新規認定を受けられた地区のみなさん



活動報告

ちゅうごく街道交流会議(2010/5/27)

パネルディスカッション

「風景街道・夢街道の更なる向上を目指して」

《パネルディスカッションでの主な意見》

これまでの風景街道・夢街道ルネサンスについて

- ・中国地方のブランド化に近づいた。
- ・夢街道ルネサンスを通じて中国地方に一体性が出てきた。
- ・祭りの創造により、昔からの歴史・文化と現在がダイナミックに継承されている。
- ・課題として、後継者、PR、資金等の問題が上げられる。
- ・道を通じた地域の連携と交流が地域振興の手段になる。

これからの風景街道・夢街道ルネサンス

- ・点をいかに線にするか、そして面にするかということが街道運動の一番の課題ではないか。
- ・元気のいいところと、そうでないところをいかに結んでいくかという観点もある。
- ・中国地方は歴史的、文化的遺産が豊富であるというイメージをつくるべき。
- ・街道の地区での連携手段として、モデルルートが効果的。
- ・古くからの歴史、まちの成り立ち等から街道を見ていくと、広がりが生まれる。
- ・一体性の絵をもっと具体的に描いていくことが重要。
- ・一体化の成果を今後活かしていくことが課題。

